

VG概論だより

会報 第148号
発行日 平成29年2月1日
発行・編集 VG概論
代表者 大岡成一
http://web1.ibj.co.jp/~kirin

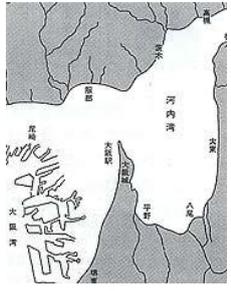
わがまち紹介

早いスピードで再開発が進んでいるまち・阿倍野
平成29年1月19日

JR天王寺駅中央口改札出口に集合し、学研コソファン阿倍野を訪問しました。事業所長代理 藤井さんに長時間丁寧な館内案内と説明をして頂き有難うございました。

阿倍野区は、大阪の高台(上町台地)に展開された集落でした。

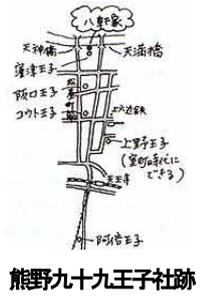
生駒山脈、金剛山脈等の山地が、平野に移り変わる場所で丘陵や台地が広がり、丘陵の一部がいわゆる上町台地(古代には難波岡ともいわれている)を形成していました。



古代の阿倍野の地形

この辺りの石器時代の遺跡からは、シカ、イノシシ、カモ、キジなどの骨をはじめ、貝塚や鯨骨、漁具の蛸壺、くり船などが発見されています。

このように、山の幸とともに海の幸にもめぐまれ、まいりました。楠や松、杉などの大木がうっそうと茂り、気候は温暖で、食べ物に満ち溢れた美しい土地でした。



熊野九十九王子社跡

平安中期ごろから、上皇や貴族の間に、熊野詣(くまのもうで)が盛んになり、熊野街道は、もともと高台で風景に優れていたことから、明治25〜26年頃、当時の天王寺警察署長の発案により、天下茶屋の鯨池を中心として天下茶屋、阿倍野神社一帯に遊園地の建設計画が進められたことにより、良好な住宅地として注目されるようになりました。

鎌倉時代から室町時代にかけては、戦場として、仁元年(1450)に起こった「応仁の乱」において、しばしば天王寺・住吉・上町などで畠山と細川の両軍の合戦が繰り返され、

上町台地は荒れ果ててし、明治の初めごろ、阿倍野は米・麦をはじめカブラ・ダイコン・カボチャ・ナタネなど時には綿も栽培する農村でした。主に、街道沿いの阿倍野村に約63戸、猿山新田に約28戸の農家があるだけで、見渡す限り田畑や原野が広がり、狐狸なども棲むさびしい場所だったといわれています。しかし、

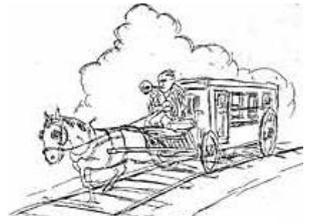
近代交通機関としては、明治33年9月、天王寺西門〜東天下茶屋間(同年11月に上住吉まで延伸)に大阪馬車鉄道株式会社が、馬車鉄道が開通しました。斬新な鉄道も明治42年南海電鉄と合併し(昭和55年南海から分離)、電車で切り替えられました。今も、阪堺上町線のチンチン電車として親しまれています。

という企業理念の実現に向け、活動されています。

池を中心として天下茶屋、阿倍野神社一帯に遊園地の建設計画が進められたことにより、良好な住宅地として注目されるようになりました。



現在のJR天王寺駅前(西側)風景



当時の馬車鉄道の絵

学研コソファン阿倍野

学研コソファンは、すべての人が心ゆたかに生きることを願い、今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します」



コソファン阿倍野の喫茶室で歓談

2017年2月行事予定

日本の初春を代表する花「梅」のまち：北野天満宮

月 日：平成29年2月22日(水)
集合場所：阪急西院駅 改札出口
訪問先：北野天満宮
その他：1) 一般参加の方は、会員に申し込み下さい。
2) 天候で降水率60%以上の場合は中止します。
※ 詳細は別紙で会員に連絡します。

2017年3月度行事予定

大阪市の中核(ヘソ)のまち：大阪中之島

月 日：平成29年3月16日(木)
集合：大阪市役所 1階市民ロビー 集合時間：9:30
訪問先：大阪市中央公会堂、大阪府立中之島図書館、中之島 SOCIAL EAT AWAKE、適塾
その他：1) 大阪市特別見学会に申し込んでいます。
2) 参加希望者は早く申し込み下さい。